

令和7年3月分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

1. 清水港

輸出総額は1,922億円（対前年同月比0.6%の増加、比率ベース：2カ月連續の増加）、輸入総額は1,113億円（同13.6%の増加、3カ月ぶりの増加）であった。差引額は809億円（同13.0%の減少）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「原動機」、「科学光学機器」などは減少したものの、「二輪自動車類」、「加熱用・冷却用機器」、「船舶類」などが増加した。

輸入は「とうもろこし」、「有機化合物」などは減少したものの、「液化天然ガス」、「がん具及び遊戯用具」、「二輪自動車類」などが増加した。

地域別では、輸出は「EU」が増加、「アジア」、「アメリカ」は減少した。輸入は「アジア」が増加、「EU」、「アメリカ」は減少した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	1,922億円	+0.6%	1,113億円	+13.6%	809億円	▲13.0%
	2カ月連續の増加		3カ月ぶりの増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率		
輸出	増加品目	(1)二輪自動車類	249億円	+26.8%	輸入	増加品目	(1)液化天然ガス	97億円	+80.1%		
		(2)加熱用・冷却用機器	68億円	2.6倍			(2)がん具及び遊戯用具	24億円	+95.4%		
		(3)船舶類	21億円	12倍			(3)二輪自動車類	24億円	+74.9%		
	減少品目	(1)原動機	221億円	▲17.6%		減少品目	(1)とうもろこし	10億円	▲42.9%		
		(2)科学光学機器	103億円	▲30.3%			(2)有機化合物	44億円	▲11.6%		
		(3)自動車の部分品	132億円	▲18.9%			(3)自動車の部分品	22億円	▲17.0%		
	主要地域 増減	EUが増加、アジア、アメリカは減少				主要地域 増減	アジアが増加、EU、アメリカは減少				

（参考）ドルレートは、149.55円（前年同月比0.1%、0.1円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	7億円	▲50.8%	26億円	▲24.3%	▲20億円	▲7.5%
	5ヶ月ぶりの減少		2ヶ月連続の減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 糖類及び同調製品・はちみつ	42百万円	+49.6%	輸入	増加品目	(1) とうもろこし	18億円	+28.0%
		(2) 自動車の部分品	10百万円	+42.5%			(2) 有機化合物	5億円	+40.0%
		(3) ゴム製品	1百万円	2.9倍			(3) 魚介類及び同調製品	2億円	7.3倍
	減少品目	(1) 電気計測機器	—	全減		減少品目	(1) 木材及びコルク	—	全減
		(2) 金属鉱及びくず	96百万円	▲71.7%			(2) 無機化合物	—	全減
		(3) 精油・香料及び化粧品類	1億円	▲52.8%			(3) パルプ	2億円	▲12.9%
	主要地域 増減		アジア、アメリカ、EUが減少					アメリカが減少、アジア、EUは増加	

3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	253億円	▲24.1%	32億円	2.1倍	221億円	▲30.6%
	3ヶ月連続の減少		4ヶ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	58億円	+15.1%	輸入	増加品目	(1) 鉄鋼	15億円	3.1倍
		(2) 原動機	9億円	2.1倍			(2) 調製石油添加剤	5億円	+19.8%
		(3) 電気計測機器	5億円	2.5倍			(3) 木製建具及び建築用木工品	1億円	+47.6%
	減少品目	(1) 自動車	82億円	▲52.8%		減少品目	(1) 粗鉱物	—	全減
		(2) 二輪自動車類	9億円	▲54.7%			(2) お茶	—	全減
		(3) 楽器	31億円	▲1.7%			(3) 有機化合物	94百万円	▲16.3%
	主要地域 増減		EU、アメリカが減少、アジアは増加					アジアが増加、EUは減少	

4. 静岡空港

輸出入実績なし